



月山朝日観光協会イメージ
キャラクター「ガッさん」

NETWORK

にしかわ

2021

令和3年
9月号

No.786



- 主な内容 -

P2 | 本坊元児のにしかわ日記

P12 | にしかわ歴史めぐり

Profile 本坊元児 (ほんぼう・がんじ)

1978年、愛媛県松山市生まれ。大阪NSC20期生。2001年に水口靖一郎とお笑いコンビ「ソラシド」を結成。以降baseよしもと・うめだ花月・京橋花月などの劇場で活動。その後東京に進出するもアルバイト生活が続き、当時の工事現場でのアルバイトの日常や自身について綴った「プロレタリア芸人」を2015年に出版。2018年10月から吉本興業の企画「あなたの街に住みますプロジェクト」で「よしもと山形住みます芸人」として活動開始。▶出演番組（テレビ・ラジオ）：日本テレビ「人生が変わる1分間の深イイ話」、山形放送「ピヨ卵ワイド」、テレビユー山形「どっこいShow! どすこいやまがた」、NCV米沢「オキタマソラシド♪」・「NTピ+プラス」、おらんだラジオ「ひるらじ」、ダイバーシティメディア「ソラシドが行く!」 など



PHOTO SNAP /



▲白くて甘い「ホワイトコーン」。自信作です!



▲1つ1つ実の生育状況をチェック中



西川町の皆さん、
よろしくお願ひします!

本坊元児の
にしかわ日記

西

川町・網取地区で早朝から畑仕事をする男性の姿が。彼は吉本興業の「あなたの街に住みますプロジェクト」の企画で山形県に移住された、お笑いコンビ「ソラシド」の本坊元児さん。現在移住3年目、今や県内のテレビやラジオに引つ張りだ。さらに網取地区の「本坊ファーム」で農業に力を入れ、その姿が全国放送で特集されるなど、多方面で活躍されています。そして2021年7月、本町の「月山ふるさと大使」に就任された本坊さん。今号では、都会での生活から一転して山形に移住されるまでの経緯や、現在の自身の畑「本坊ファーム」を構える本町・西川の皆さんへの想いを綴っていただきます。

“本坊元児と申します!”

西川町の皆さんこんにちは! 「よしもと山形住みます芸人」の本坊元児と申します。相方の水口と「ソラシド」を結成して今年で20年目になります。よろしくお願ひします!

僕たちは、山形に来るまでは大阪や東京で漫才をしておりました。デビューから数年、大阪の劇場で仕事を続けてしばらく経った頃、仲が良かった「麒麟」や同世代の芸人たちが売れ出して東京に進出。それを見て「ずっと大阪に居ていいのかな?」と焦りを感じた僕たちは、仕事なんか無いと分かっていたながらも東京に

引つ越しました。当然、お笑いの仕事だけでは食べていきません。漫才をしに来たはずの東京で、僕は肉体労働のバイトに明け暮れる日々を送ることになりました。1カ月の内、1日だけ舞台で漫才、それ以外の日はずっと工事現場でバイト、という生活です。しんどいバイトばかりすぎて、そのことを綴った本まで出してしまいました(「プロレタリア芸人」2015年 出版:扶桑社)。

悔しいけど、東京で芸人としてやっていくことに限界を感じていました。とにかく東京から離れて現状を変えたい。行くなら全然知らないところがいい。こうして僕たちは2018

年「あなたの街に住みますプロジェクト」の企画で山形に住み始めました。

“「本坊ファーム」始動!”

「山形で農業に挑戦したい」と思っていたとき「網取の空き家と畑を使わないか」というお話をいただきました。2020年3月、本坊ファームの誕生です。とは言っても、始めたばかりの頃は「農業経験ゼロの芸人が、悪戦苦闘しながらいろいろやっているところをYouTubeにアップできたらいいかな」くらいの軽い気持ちで作業していました。

ある日、畑でせっせとジャガイモを植えていたとき、通りかかった男性の方がこちらに向かって「オウ!」と叫んできました。「オウ!」が西川でよく交わされるあいさつだと知らなかった僕は、一瞬怖い人が来たのかと思っ慌てましたが、その方は「ジャガイモな、まだ植えでわがねったなあ。いますこすおもってがらよお」と、植える時期について優しく教えてくれました。その後も町内でお会いした方々から「本坊くん、まだジャガイモわがねねよ」と声をかけてもらいました。

周りの方からこんなに見守られているとは…。農業初心者僕に押し付けるでもなく、皆さん絶妙な距離感で教えてくれるんです。ありがとございます。

そんな地域の方からのアドバイスもあり、真剣に畑と向き合うようになりました。今年はジャガイモ・にんにく・ししとう・トウモロコシなどいろいろ植えて「道の駅にしかわ」にも出品できました。今はカボチャをいっぱい植えているので、秋に収穫するのが楽しみです。冬場は大根作りを頑張ろうと思います!

“「月山ふるさと大使」の本坊元児です!”

西川で農業を始めたおかげで、たくさんのご縁に恵まれ、お仕事も増えました。その上「月山ふるさと大使」に選んでいただけるなんて…。本当に光栄に思っています。

よく「本坊くん、いつまで西川にいます予定なの?」と訊かれますが、農業でお仕事もらえる限りずっといますよ! (笑) 皆さん、引き続きよろしくお願ひします!

協働通信 VOL.171

情報の共有をめざして!

小沼地区の上水道水源地で8月6日、安全祈願祭が執り行われました。

祈願祭には地区関係者をはじめ、水源の水で月山自然水の製造を手掛ける西川町総合開発(株)の代表者などが出席しました。

参加者は安全で安定した水道事業の運営を祈願するとともに、長年町民の生活を支え続ける水源に感謝の思いを



▲安全祈願祭の様子

水源地の安全を願って… 西川町上水道施設安全祈願祭

捧げました。

西川町における東京2020パラリンピック聖火リレー採火式が8月14日、本道寺口之宮湯殿山神社で行われました。

小川町長が護摩祈禱の祭壇から採火し「ともしび会」の田作政司会長(大井沢)の持つランタンに火が灯されました。

同イベントは県内各地で行われ、各地から集められた火は16日に山形県総合運動公園で行われた集火式で一つに集



▲採火式の様子

パラリンピック聖火リレー採火式 本道寺口之宮湯殿山神社から炎旅立つ

約。さらに東京で集火され、21日から実施されたパラリンピック聖火リレーに炎が繋がりました。

町の施策を
ズームアップ

西川町を元気な町に!! 町が展開する事業あれこれ

～ 事業の紹介やその進ちょく状況についてお伝えします ～

第81回

◆ 災害への備え

防災行動計画(タイムライン)について

担当課 / 総務課

日頃より町民の皆さんからは防災行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

今号では、防災行動計画(タイムライン)について紹介します。今後の防災活動の参考にしてください。

■ タイムラインとは

災害発生を前提とした防災行動計画のことで、住民一人ひとりのタイムラインはマイ・タイムラインと呼ばれます。タイムラインを自ら考え作るという行動を起こすことで防災意識の向上が期待されるほか、被害を未然に防ぐことに役立ちます。

前線や台風の接近等による大雨によって、予め土砂災害や河川の氾濫等の災害発生が予想される場合、町や関係機関がとるべき防災行動を時系列的に整理し、人的被害の防止を図るためのスケジュールのような役割を果たします。

■ 検討ポイント

マイ・タイムラインの検討過程では、町が作成・公表している防災ハザードマップを用いて、さまざまな災害リスクを知り、どのような避難行動が必要か、またどういったタイミングで避難することが良いのかなどを考え話し合うことが大切です。

防災ハザードマップ等から自分の居住地等の災害リスクや防災情報を「知る」こ



とから始め、次に避難行動に向けた課題に「気づく」こと、そしてどのように行動するかを「考える」ことが重要です。他の人からの意見等も、自分自身の場合に置き換えることで気づく点もありますので参考にになります。

一人ひとりに合ったマイ・タイムラインの作成は防災にとつて有効です。時間のあるときに、構えず、難しく考えず、気楽な気持ちで作成してみましよう。

■ 町のタイムライン

町では平成30年8月に「前線、台風等に伴う土砂等災害に関する西川町タイムライン(防災行動事前対応計画)」を作成し、同年9月から10月に開催された「町長と語る会」で資料を配布し、説明を行いました。

今年7月28日の台風8号が接近した際、町ではこのタイムラインに基づき対応を行いました。

角田商事(株)から寄付金200万円 西川町の観光振興のために

「月山スノーランド」で使用する圧雪車の購入費に役立てていただきたい」と、寒河江市の角田商事(株)から本町に200万円をご寄付いただきました。

角田裕一会長と角田祐一郎社長は8月24日、役場を訪れ、小川町長と「月山冬の誘客推進協議会」の今野和久会長(志津)に目録を手渡しました。

同社は2024年に創業100周年を迎えることから、地域貢献を図る「100周年プロジェクト」の第1弾として今回本町へのご寄付をされたとのこと。



▲角田商事(株)の角田裕一会長・角田祐一郎社長(右)が小川町長・今野会長(左)に目録を手渡した

※タイムラインについては国土交通省のホームページに掲載されており、参考にしてください。

■ 今後の予定

現在、町では避難所運営マニュアルの作成・更新作業を行っています。今後、各地区からご意見をいただきながら進めていく予定です。ご協力をお願いします。

また、新型コロナウイルス感染症状況を見ながらではありますが、昨年10月に全戸配布した防災ハザードマップやタイムライン、避難所運営マニュアル等について、各地区での説明も行っていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

お問い合わせ

総務課
02377-7412119

山形県西川町

LINE やってます!



アカウント名称 / 山形県西川町
ID / @nishikawa_town

町からのお知らせや各種行事の詳細など
皆さんの生活に密着した情報をお届けします! /



健康川柳・親子健康標語 入賞作品決定！

健康川柳

- 最優秀賞** 健康は 自分でつくる 宝もの (齊藤恵美子・間沢)
- 優秀賞** 健診は 身体からだの声を 聞くチャンス (林春菜・吉川)
- 優秀賞** 短冊に 祖父母の長寿 願う孫 (菅野喜章・間沢)
- 優秀賞** 健診の 判定結果 身に覚え (PN・メタボさん)

西川中学校・親子健康標語

- 最優秀賞** 健診は 家族の幸せ 守るため (1年・佐藤新)
- 優秀賞** 健診を うけて確認 自己防衛 (3年・若月うらら)
- 優秀賞** 免疫を 高めてカラダ 腸元気 (2年・大泉陽路)
- 優秀賞** 我が町の 自然を感じ ウォーキング (2年・佐藤陽向)

図書館さ、いぐべく。

俳句を楽しむ会 入賞作品発表

今年も「俳句を楽しむ会」に多くの作品が寄せられました。小学生の部76句、中学生の部233句、一般の部23句の中から入賞された作品をご紹介します。
選句には、「せせらぎ俳句会」の会員の皆さんからご協力いただきました。

【一般の部】

- 特選句** 風薫る 聖火ランナー 光り合ふ (清野幸夫・海味)

【小学生の部】

- 〔天〕賞** 空っぽの 水とうのぞく 大暑の日 (飯野晴久)
- 〔地〕賞** 徒歩下校 ランドセルしよい 汗のあと (古澤穂乃花)
- 〔人〕賞** 昼休み 自分へ向ける せん風機 (松田昇磨)
- 図書館賞** 見つけたぞ 岩にかくれた サンショウウオ (荒木琉志)
- 図書館賞** ぼくんちの 庭でカエルの がっしょうだ (山崎陽生)

【中学生の部】

- 〔天〕賞** 傘さして 桜さくら降る 通学路 (古澤怜奈)
- 〔地〕賞** ふうりんが りんりんりんと 一人ごと (菅野崇太)
- 〔人〕賞** 夏休み 楽しい前半 苦の後半 (清野巧真)



▲一般の部・表彰式の様子



▲小学生の部・表彰式の様子



▲中学生の部・表彰式の様子

この度、西川町健康づくり推進会議では、子どもから大人まで健康について考えるきっかけを作ることを目的に、健康診断やメタボ、減塩など健康に関することをテーマにした「健康川柳」と、小・中学生を対象とした「親子健康標語」の募集を行いました。
今年度は健康川柳67作品、親子健康標語168作品(小学校65作品、中学校103作品)の応募があり、健康づくり推進会議の委員で審査を行い、入賞作品が決定しました。
また、にしかわ保育園の子どもたちを対象に「健康ぬり絵」を募集し、38作品の応募がありました。

西川小学校 親子健康標語

- 最優秀賞** ちえつとそこ 車のらずに あるこうよ (3年・高野夏生)
- 優秀賞** おいしいな はやねはやおき あさごはん (1年・やまざきおと)
- 優秀賞** 歩こうよ 月山のある町 わたしから (4年・西谷梁)
- 優秀賞** 散歩して あいさつ交わし 笑顔咲く (6年・荒木柚優愛)

健康づくり推進会議会長賞

検診から はじめる一歩 健康体 (松田陽子・吉川)



お元気ですか? まちの保健室から PART281



伊藤貢さん

◆「メッツ(METS)」を意識して生活しましょう!

前号に引き続き「運動の強さ」を表す単位「メッツ(METS)」についてのお話です。計算式は

$$\text{消費カロリー(kcal)} \parallel \text{メッツ(METS)} \times \text{時間(h)} \times \text{体重(kg)}$$

です。例えば、体重が60kgの人が3・5メッツのウォーキング(時速4・5km/5・1km)を1時間行った場合は、 $3 \cdot 5(\text{METS}) \times 1(\text{h}) \times 60(\text{kg}) \parallel 210(\text{kcal})$ の消費カロリーになります。この計算で、家事や農作業などの生活活動の消費カロリーも見える化できます。

興味のある方は、国立健康・栄養研究所のホームページで「改訂版『身体活動のメッツ(METS)表』」を参考に、自分の消費カロリーを計算してみましょう。

適切な運動指導で 健康づくりを応援します!

胸筋を動かすストレッチ

壁があればどこでもできる、胸のストレッチを紹介します。姿勢改善にも効果があります。

- ①壁の真横に立ち、手と肘を壁に付けます。
- ②手と肘は動かさず、上半身をひねり、15秒キープします。



- ※柔軟性には個人差があります。ご自身の体に合わせた無理のない体勢で行ってください。
- ※痛みは体からの赤信号のサインです。体に痛みを感じた時は運動を中止してください。

生涯学習の ひろば

西川町で「スポーツの秋」
を楽しみましょう!



西川町で東京2020オリンピックの事前合宿を行った、日本・モルドバ共和国・チリのカヌー・スプリント競技の選手の皆様が本番で力漕を見せてくださいました。特に本町がホストタウン協定を結んでいるモルドバ共和国のセルゲイ・タルノフスキ選手は、男子カナディアンシングル1000mのレースに出場し、見事銅メダルを獲得されました。

モルドバの選手たちをリアルタイムで応援しようとして8月8日、交流センターあいべの大ホールでカヌーのクラブチーム「goodup(グッドアップ)」がカヌー競技のライブビューイングを行い、一流選手たちの活躍を観た子どもたちからは大きな拍手が起りました。

月山湖で練習を重ねた選手の活躍は、未来のカ



▲銅メダルを獲得したセルゲイ選手(右)



▲ライブビューイングでレースを観戦するカヌークラブチーム「goodup(グッドアップ)」の皆さん

ヌー選手を志す西川の子どもたちに夢と感動を与えてくれました。

東京五輪でモルドバ・チリの選手が大活躍!

地域おこし協力隊になりました。

関家 広

西

川町の皆さん初めまして、関家広と申します。8月2日に西川町の「地域おこし協力隊」に着任しました。私は農業分野の担当として3年間活動していく予定です。

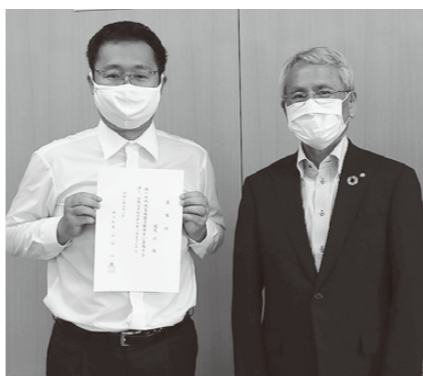
元々埼玉県に居住しており、農業とは無関係の生活を送っていたのですが、数年前参加したイベントで西川町の方に声をかけていただいたことがありました。それがきっかけで西川町での農業、特に啓翁桜の栽培に興味を持ち「地域おこし協力隊」に応募を決めました。

農業は未経験で一からのスタートとなります。現在は農業研修センターで施設園芸のノウハウを勉強しているところです。まずは基礎的なところからしっかり学んで知識を身に付けたい

と思います。

将来的には、啓翁桜と野菜や果樹の栽培を組み合わせた、西川町に合った周年農業のモデルケースを確立することが目標です。

「地域おこし協力隊」としての活動は3年間と限られていますが、町の農業の担い手の一員となれるように頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



台湾での活動をお知らせします。

梁 逸

清

々しい秋晴れが続く昨今ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

台湾では新型コロナウイルスの封じ込めに成功し、新規感染者数が1桁台で推移しています。しかし5月に入ってから感染が急拡大し、5月下旬には1日の感染者数が500人を超える日もありました。5月19日から台湾全域の警戒レベルが3級に引き上げられ、厳しい感染防止措置がとられました。外出時のマスク着用の義務化、学校の一時休校、店内飲食の禁止、レジャー施設の休館、テレワークの推進など、普段の生活は激変しました。現在、直近の新規感染者数は台湾全体で1日10名程度となったため、警戒レベルは2級に引き下げられ、一部の措

置も緩和されています。

新型コロナウイルス感染症の影響で就労ビザの手続きが延期となり、西川町に戻れない状況が続いています。

今は台湾で西川町の情報発信や、小学校交流会の計画・準備などの仕事をしています。新型コロナウイルス感染症が終息し、西川町に戻る日を心待ちにしています。



大人も子どもも楽しめる「けん玉教室」

「スポーツサポート西川」では毎週水曜日に「けん玉教室」を開講しています。教室では、基礎的な技から高難易度の技まで、一人ひとりのタイミングで楽しめます。

けん玉は全身運動で特にひざの屈伸運動などが上達のカギとなります。技を成功させるために無意識に体全体を使うことで、運動不足の解消にとっても効果的なスポーツです。また、受講していく中で自分の実力に合わせた「けん玉検定」に挑戦するのも参加者の楽しみの一つとなっています。

ぜひ、「スポーツサポート西川」で大人から子どもまで気軽に楽しめる「けん玉」に挑戦してみてくださいませんか?



お問い合わせ：生涯学習課スポーツ振興係 (☎0237-74-3131)

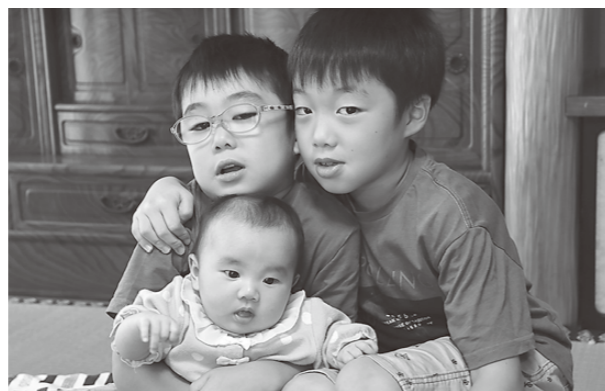
＼第3子誕生、おめでとうございます！／

佐藤誉之さん・宏美さんご夫妻（海味）に6月16日、第3子となる依菜琉（いまる）ちゃんが誕生しました。

「お兄ちゃん2人（佑心くん・7歳、祐空くん・5歳）が積極的に面倒を見てくれて嬉しいです」と笑顔の母・宏美さん。

「依菜琉（いまる）」というお名前の由来について、父の誉之さんは「明石家さんまさんの娘さん・IMARUさんの『生きてるだけで丸儲け!』という名前の由来が素敵だと思って名付けました」と話してくれました。

「家族全員カヌー大好き!」という佐藤さん一家。「将来、依菜琉と一緒にカヌーができれば嬉しい」と、皆さんで依菜琉ちゃんの成長を楽しみにされていました。



＼第5子誕生、おめでとうございます！／



後藤一政さん・美香さん夫妻（間沢）に6月26日、第5子となる稀波（きな）ちゃんが誕生しました。

後藤さんのお宅は、溜依くん（15歳）・杏ちゃん（11歳）・一稀くん（8歳）・優稀ちゃん（5歳）、そして稀波ちゃんが誕生し、5人兄弟に。父の一政さんは「夏らしい爽やかな『稀波』という名前は次女の優稀が考えてくれました」と笑顔。

母の美香さんは「上の子たちが稀波のお風呂のお世話をしてくれたり、おむつ交換をしてくれて助かっています。子どもが5人いると賑やかで毎日大変ですが、日々幸せを感じています」と、お子さん一人ひとりに温かい眼差しを向けていました。

わいわい ひろば

第124号

保育の理念：子どもに愛と生きる力を

保育目標

- 雪のようにきらきら輝く子
- 緑のようにやさしくあったかい子
- 太陽のようにつよくたくましい子

大切にしていること

- ★しっかり看つめること
- ★ぎゅっとハグすること
- ★自分の興味を満喫させてあそぶこと
- ★思いっきりカラダを動かすこと
- ★大人みんなで精一杯愛すること
- ★大人も育つこと

保育園コーナー

「おはなしピーツクさん」によるお話を

毎年、ボランティアアサークル「おはなしピーツク」さんから絵本の読みきかせをしていただいています。
今年「こぶとりじいさん」「いっぽんばしにほんばし」「パンダくんのおにぎり」「ふしぎなキャンディやさん」の4つのお話をプレゼントしてくださいました。子どもたちはみんな瞳を輝かせて楽しい物語に夢中になっていました。おはなしピーツクさん、ありがとうございました。



「楽しかったプール遊び」

今年の夏もプール遊びを思いきり楽しんだ子どもたち。水の中に顔をつけたり、潜れるようになったりと、プール遊びを通してみんなの「挑戦する力」が育ちました。また、水着に着替える習慣が身に付いたこと、お着替えも上手になりました。
おかげさまで今年も安全に楽しくプール遊びを楽しむことができました。今後は秋の運動会に向けて、子どもたちの新たなページが始まります。



ほっかぽかコーナー

「8月の活動をお知らせします」

8月の「ほっかぽか」でもたくさんのお子どもたちの笑顔に出会うことができました。
写真は「ゆきんこさんわらべうたの会」「ばくばくルーム」「8月の誕生会」の様子です。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



▲ばくばくルーム



▲ゆきんこさんわらべうたの会



▲8月のお誕生会



▲プール遊び



2021年は、承久の乱のちに大江親広が西川町に入門してからちょうど800年とされる節目の年。今年度、町では大江親広公入部800年を記念した「安中坊別当屋敷跡」の整備工事や、安中坊を巡るツアーの実施を予定しています。本シリーズでは、西川町と大江氏のあゆみについてご紹介いたします。節目の年を迎えたこの機会にぜひ、郷土の歴史に触れてみましょう。



▲移設された無量寿院（山形市・常念寺）

江戸時代の「安中坊」

江戸時代に入ってから安中坊・大江氏は「吉長・道空・義綱・広興・広隆・広照・広義・広頭・広秀・広親・広豊・広信・広満」と連なり、阿弥陀屋敷の墓地にほとんどの墓石が遺っています。

江戸時代の安中坊は代々羽黒山の修験を生業とし、吉長の代で天台宗の東叡山に属する無量寿院を興します。同院は広隆（元禄期）、広豊（天保期）の時に再建されています。

吉長の子・道空は『安中坊系譜』を作成し、慶安二年（一六四九）、江戸幕府將軍・徳川家光から阿弥陀堂領

に御朱印・百十八石九斗余を拝賜しています。

また、道空の弟に羽黒山参道の石段や杉並木造成に寄与した羽黒山第五十代別当・天宥がおります。これらのことから、江戸時代の安中坊・大江氏と羽黒山の関係が親密であったことがうかがえます。

発掘された歴史

平成四年、本町では「西村山地域史研究会」会長の故・阿部西喜夫氏に安中坊・大江氏と阿弥陀屋敷に関する考証調査を依頼しました。阿部氏の調査の結果「安中坊の歴史的価値は非常に高く、今後の西川町の歴史的価値を創造していく上で重要な要素となる」との見解でした。町では、歴史の実証的解明と今後の整備計画を策定する

にあたり、平成十一年から十五年にかけて発掘調査を実施しました。

第一次調査で早速鎌倉時代の遺物（珠洲焼播鉢）が発見され、第二次調査ではさらに古い奈良・平安時代の遺構や遺物が発見されました。よって吉川地区には鎌倉時代前にも集落が存在していたことが判明しました。

発掘調査の結果、中世末のものと考えられる土塁状遺構や柵列遺構などが出土しましたが、全体的には近世以降に作られたものが大半でした。その中でも阿弥陀堂別当が居住した安中坊の寺や、大江広元・親広親子と多田仁綱を祀った無量寿院の跡地は、安中坊の歴史を考える上で重要な発見となりました。

継承される「安中坊」

無量寿院は前述した広豊（天保期）の時代に再建されたもので、建物に付随して井戸（深さ約4m）が発見されています。

慶応三年（一八六七）、十五代將軍・徳川慶喜の大政奉還により、安中坊も阿弥陀堂領の御朱印を上地することになりました。また、明治の廃仏毀釈の際、安中坊は僧籍を離れ廃寺となつてしまいました。この時、阿弥陀堂は解体されたのかもしれない。現在、阿弥陀堂跡地と推測される場

所には地藏堂が建っています。

無量寿院は、明治九年から二十七年まで「吉川学校」の校舎として使用されてきました。当時の吉川地区の子どもたちはこの寺内で勉学に励んでいたようです。

明治二十八年、無量寿院は建物ごと山形市の常念寺に譲渡され、現在も同寺の庫裡として存在しています。また、山門は明治五年に河北町溝延の聞徳寺に移設されています。この他にも本町・寒河江市・河北町・朝日町などに安中坊にゆかりのある遺産がい

くつか現存しています。

鎌倉時代から現代まで時代とともに変化し、歴史を繋いできた安中坊・大江氏。当家についてのご紹介は今号で一旦完結となります。地域で長年受け継がれてきたその歴史は、西川町のあゆみを考える上で重要な役割を果たしてきました。今後も町の歴史遺産として、未来へと継承され続けることを願います。

文責／西川町郷土史調査員 清野幸夫

▶河北町・谷地の田宮家に移った念持仏



▶寒河江市・法雲寺に移った厨子



▶河北町・溝延の聞徳寺に移設された山門



「安中坊別当屋敷跡」

整備工事、進行中です！

安中坊・大江氏の居所であったとされる、吉川地区の「安中坊別当屋敷跡」を歴史公園として整備するための工事が進行中です。本工事は5月17日より開始され、9月末の完成を予定しています。完成後の様子は次号以降でご紹介します。



▲工事中の「安中坊別当屋敷跡」

感染力が強い変異株にご注意ください!!

2021年版

ゼロ密を目指そう!

～一つの密でも避けましょう～



密接
しない



密集
しない



密閉
しない

人と会うときは



- 人と十分な距離を保つ!
- 混雑している場所や時間を避ける!
- オンラインの利用や時差出勤を!
- 屋外でも密接、密集を避ける!

ポイント

会話時はマスクを着用

※体調不良時の出勤・登校などはお控えください。

飲食するときは



- 少人数・短時間で、大声は避けて!
- ガイドラインを守ったお店で!
(アクリル板の設置、消毒、換気の徹底など)
- テイクアウトやデリバリーも!



それぞれの道に輝いて



西川中カヌー部が全国の舞台で躍進!

月山湖カヌーレースプリント競技場を舞台に8月19～22日、「JOCジュニアオリンピックカップ令和3年度全国中学生カヌー大会」が開催され、西川中学校カヌー部の皆さんが全国の舞台で躍進する姿を見せてくれました。

|| 大会成績 ||

- ▼男子K11▽第7位||佐藤岳真(3年・横岫)
- 12▽第4位||佐藤岳真・奥山昊己(3年・間沢)
- 1▽第6位||伊藤直大(2年・吉川)
- ▼女子K11▽第4位||鈴木紅葉(3年・間沢)
- ▼女子K12▽第2位||鈴木紅葉・佐藤和佳(1年・横岫)
- ▼女子W14▽第4位||鈴木紅葉・荒木一楽(2年・吉川)・土田琳子(1年・大井沢)・佐藤和佳
- ▼2年生男子C11▽第3位||伊藤直大
- ▼1年生女子K11▽第4位||佐藤和佳
- ▼第6位||土田琳子



▲西川中カヌー部の皆さん

西川でスポーツを頑張る皆さんの功績を称え、各種大会結果をご紹介します!

西川町バレーボールスポーツ少年団が大健闘!

大江町体育センターで8月8日、「第29回山形県少年少女スポーツ交流大会西村山地区大会」が開かれ、西川JVC男子が見事優勝を果たしました。
また、8月15日に行われた「第41回全日本バレーボール小学生大会山形地区大会」では、男子の部で西川JVC男子が準優勝という快挙を成し遂げました。

|| 大会成績 ||

- 「第29回山形県少年少女スポーツ交流大会西村山地区大会」
- ▼少年の部▽第1位||西川JVC男子(県大会出場)
- ▼少女の部▽第3位||西川JVC女子
- 「第41回全日本バレーボール小学生大会山形地区大会」
- ▼男子の部▽準優勝||西川JVC男子



▲西川JVC女子の皆さん



▲西川JVC男子の皆さん



今月の「#いいべ西川」



8月15日の夜、本道寺・月岡地区では毎年恒例となっている「夢花火」の打ち上げが行われました。打ち上げ時間は15分ほどの小さな花火大会でしたが、地区の皆さんは地域の発展と新型コロナウイルス感染症の終息を願い、夏の夜空を彩る大輪の花火を見つめていました。

▶ Instagram

西川町公式アカウント「@iibegassan」



IIBEGASSAN

今月の表紙

9月上旬頃から、町内各地のソバ畑一面に白い可憐な花が咲き出し、秋の訪れを感じさせてくれました。

町内では休耕田などを活用したソバの栽培が盛んに行われており、毎年10月中旬頃から収穫作業が行われます。(撮影地：大井沢)



編集雑記

本誌のシリーズ「にしかわ歴史めぐり」で新たに知る町内の歴史がたくさんあり、毎号楽しく編集しています。皆さんのご近所で語り継がれる歴史や伝説があれば、ぜひ教えてください。今年も猛暑が続く夏となりましたが、9月に入って一気に肌寒くなってきました。寒暖差でうっかり風邪を引かないよう、体調管理に気をつけて過ごしていきたいですね。
(板花)

西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<http://www.town.nishikawa.yamagata.jp/>をご覧ください。



9/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,396人 女 2,571人 計 4,967人 世帯数 1,819 ()は前月比 (-5) (-1) (-6) (-3)